

年の初めに、歌の贈り物や、小学生の手作りカバーの贈り物が届きました

昨年10月に好評を得た「りゅうよしこ&CYクラブ」のメンバーによる、年の初めのコンサートが、1月17日（木）午後6時半から、外来ホールで開かれました。

患者さんに少しでも病院にいることを忘れていただけるよう、素敵なシャンソンの「100万本のばら」や、懐かしいポップス「太陽がくれた季節」「パフ」「小さな木の実」など10曲を男性12人、女性6人のメンバーで熱演。患者さんからは「音楽が始まったら自然に体が動きました。懐かしくて涙がぼろぼろ出ました」との言葉をいただいたり、2階の席で聞いていた方は、声が出ないからと、大きく手で丸を作って感想を伝えてくださいました。



歌の贈り物だけではありません。市原市の国分寺西小学校の6年生のみなさんが、

ボランティアについて学ぶ授業の中で、ボランティアグループ・金平糖指導の下、尿バックカバーを作成し、がんセンターに届けてくださいました。手作りの尿バックカバーは、それぞれにビーズの飾りや、アップリケ、刺繍がほどこされていて、女子も男子も一生懸命に、ひと針ひと針縫ってくれた様子が伝わってきます。「心をこめて作りました。病気にまげずがんばってください！」などメッセージカードも添えられていました。

